

2020年3月期（第23期）

第3四半期決算概要

2020年2月10日

株式会社バイ・テクノロジー

将来見通し等について

将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。

従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

為替リスク

当社の主力製品である、フラットパネルディスプレイ製造装置の輸出販売は、原則円建てで行われております。一部に外貨建て決済もありますが必要に応じて受注時に為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしております。従って、装置販売に関する為替レート変動による影響は軽微であります。

数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

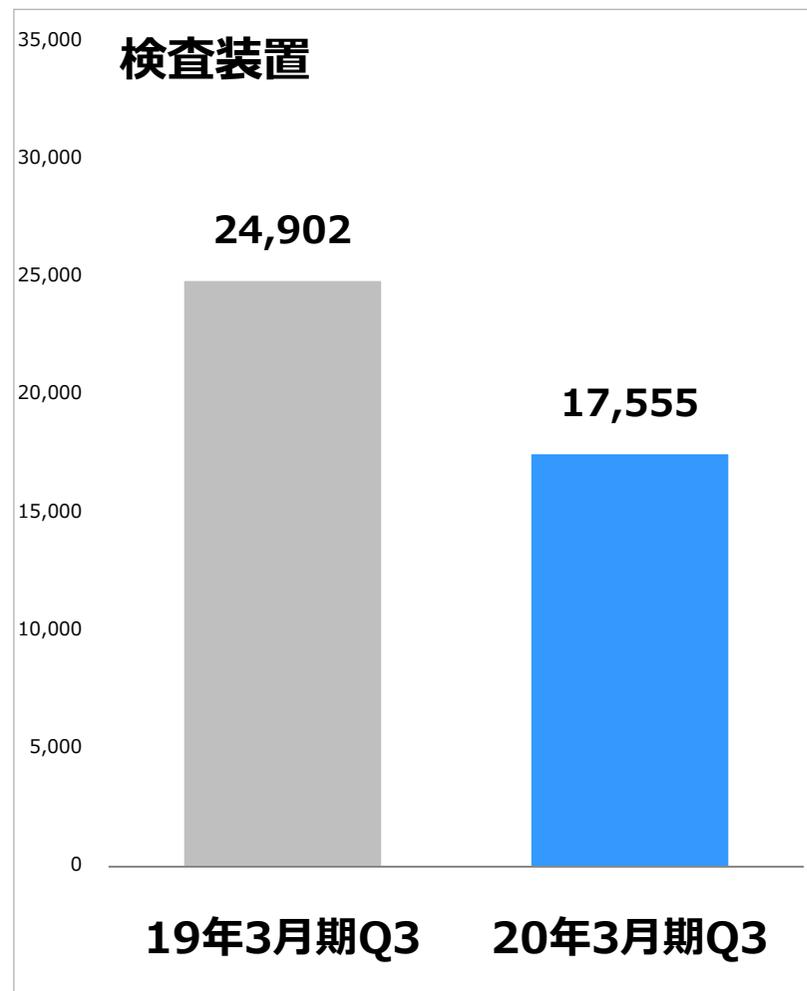
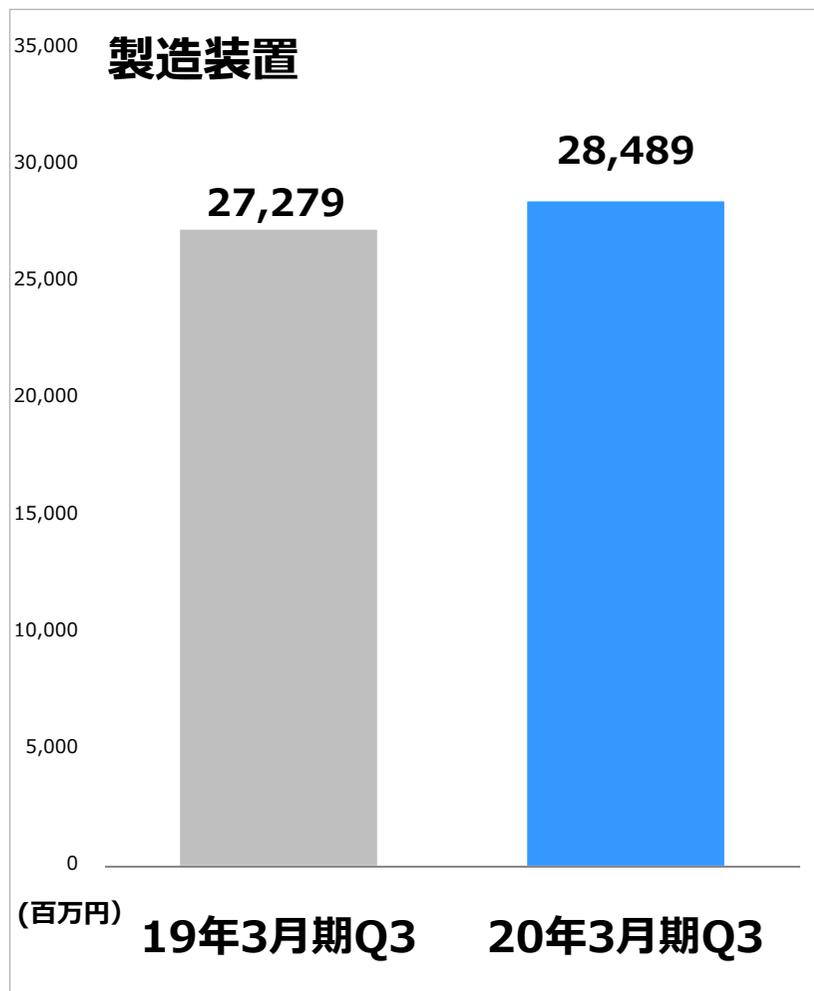
決算概要

連結業績ハイライト

- Q3期間の売上/利益は期初計画通り概ね順調に推移。
- 受注及び受注残は大型パネル関連の設備投資一巡等により減少。
- 中国での新型肺炎拡大の影響を踏まえ、今期業績見通しを下方修正。

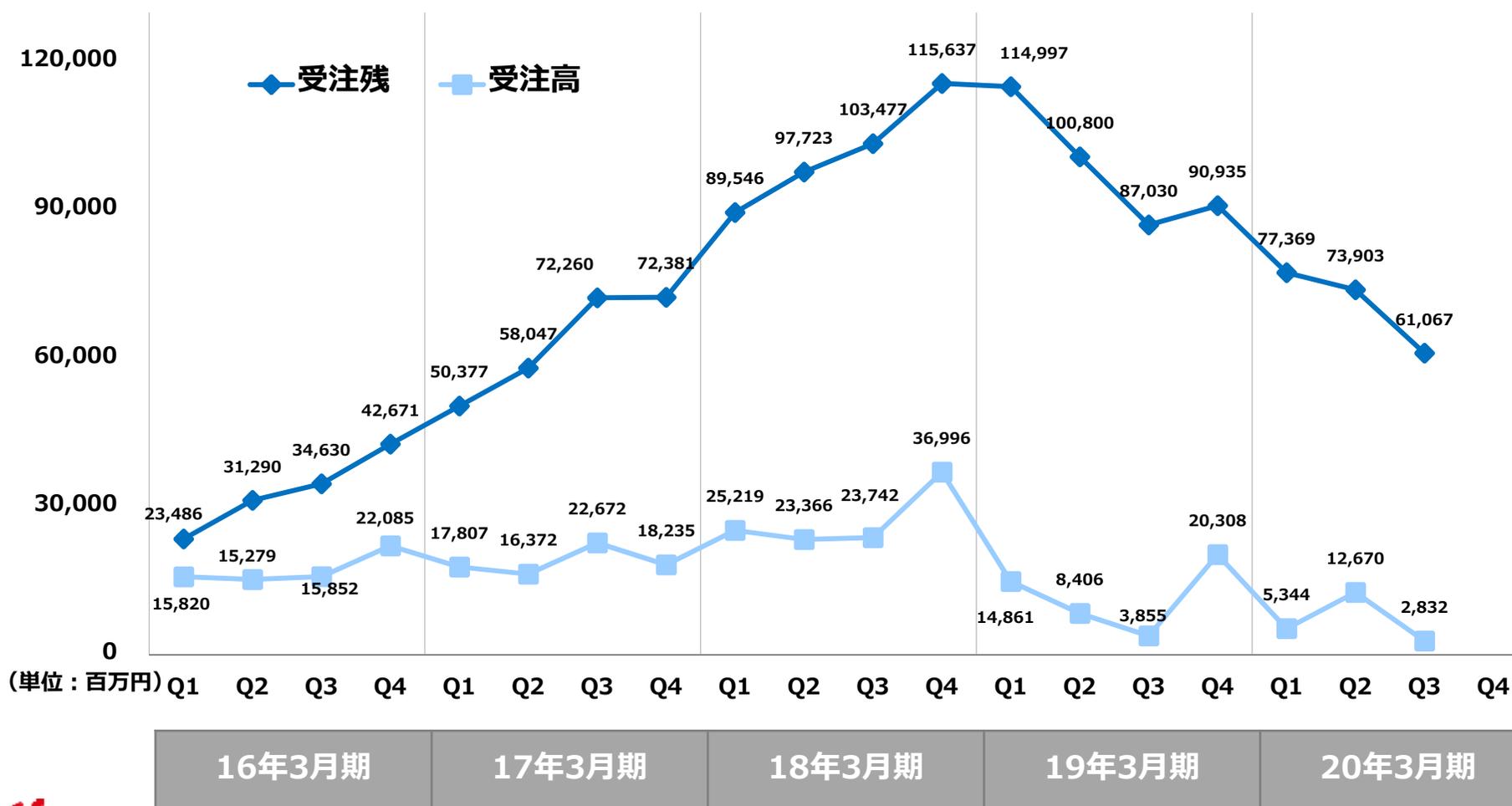
	19年3月期 Q3累計		20年3月期 Q3累計		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	55,728	—	50,715	—	-9.0%
売上総利益	19,648	35.3%	16,734	33.0%	-14.8%
営業利益	13,534	24.3%	9,447	18.6%	-30.2%
経常利益	13,691	24.6%	9,447	18.6%	-31.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9,168	16.5%	5,940	11.7%	-35.2%
受注金額	27,122	—	20,846	—	-23.1%
受注残	87,030	—	61,067	—	-29.8%

装置別連結売上高



連結受注残・四半期連結受注高の推移

- Q3の受注は、新製品/新事業のスタートアップとFPD設備関連の商談一巡が重なり低迷。
- 大画面パネルの市場においてOLEDのシェアは増加傾向にあり、White OLED(LCDと同様にカラーフィルターが必要)の技術を採用した大型パネル工場の新設に関連した商談が中長期的には増えていく見通し。

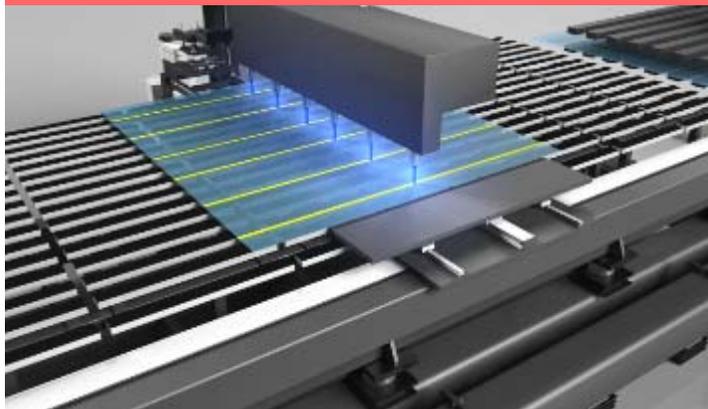


(参考) 開発中のFPD関連新製品

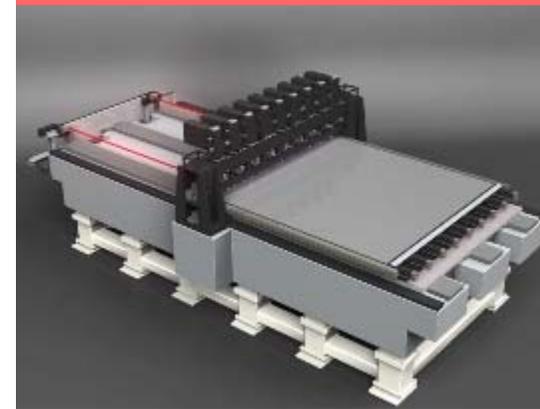
WOLED用蒸着装置



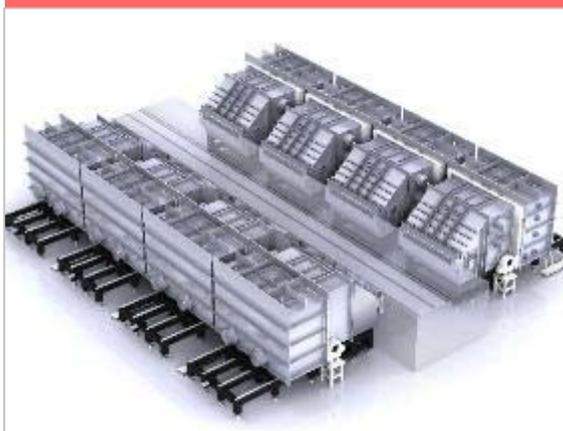
レーザーアニール装置



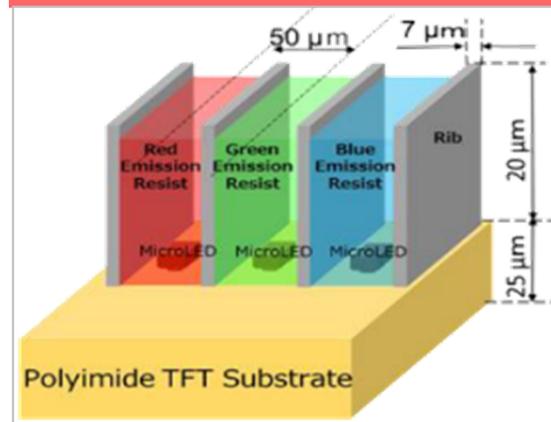
マスクライター



縦型蒸着装置



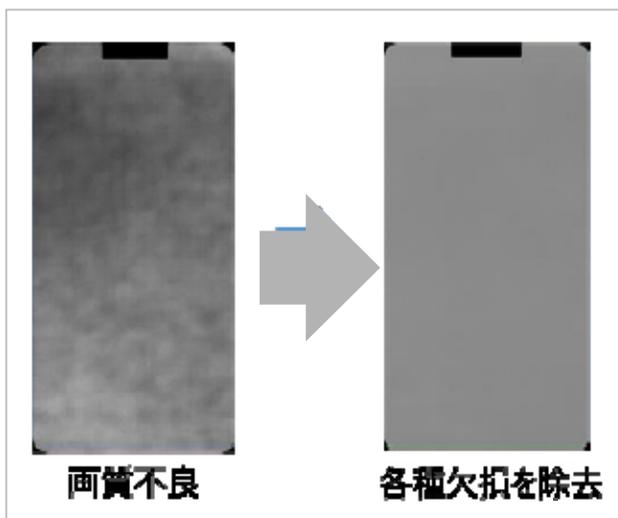
マイクロLED



(参考) 部材・サービス事業

サルベージサービス

中小型OLEDの再生サービス事業
V Tech Shinning Color technology



中小型フレキシブルOLEDの
歩留り改善に貢献

ファインハイブリッドマスク

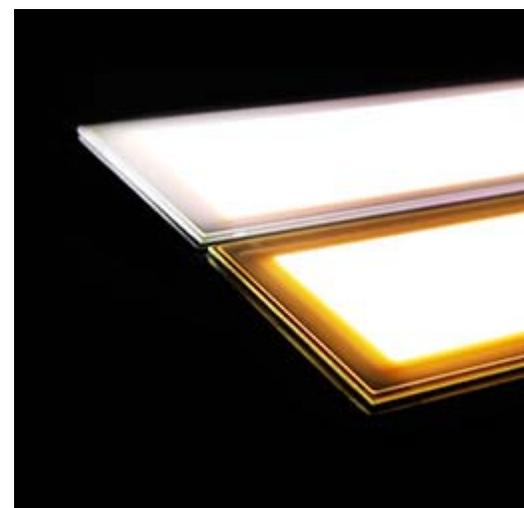
OLED用蒸着マスク事業
株式会社VET



高精細OLED対応
軽量/組立不要

有機EL照明

有機EL照明事業
株式会社ルミオテック



日本発の有機EL照明
技術で中国灯具市場に参入

(参考) 半導体関連事業

Z-CSET

Zhejiang Chip Sunshine Equipment Technology Co., Ltd.
中国での半導体製造装置事業



ナノシステムソリューションズ

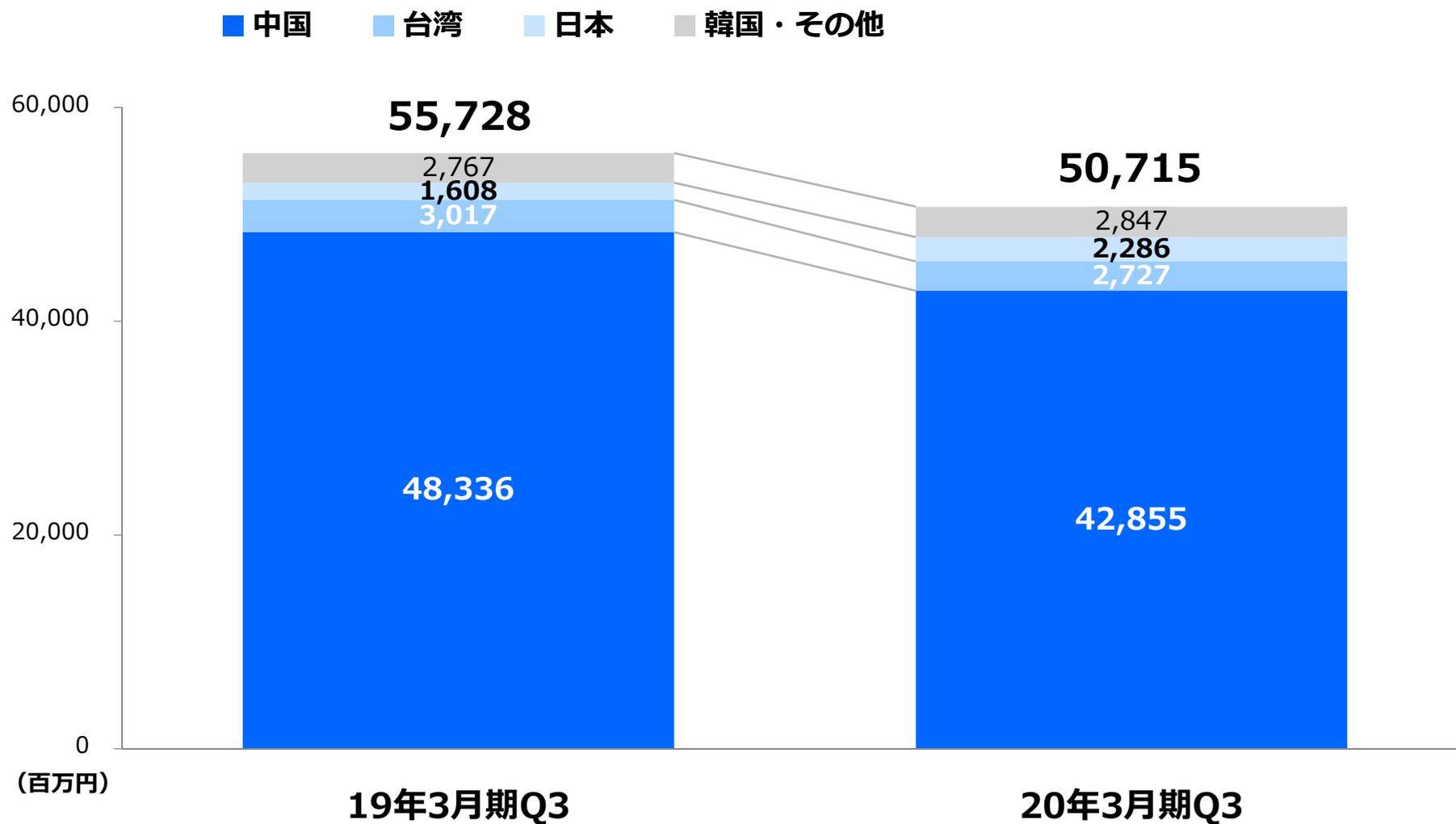
マスクレス露光



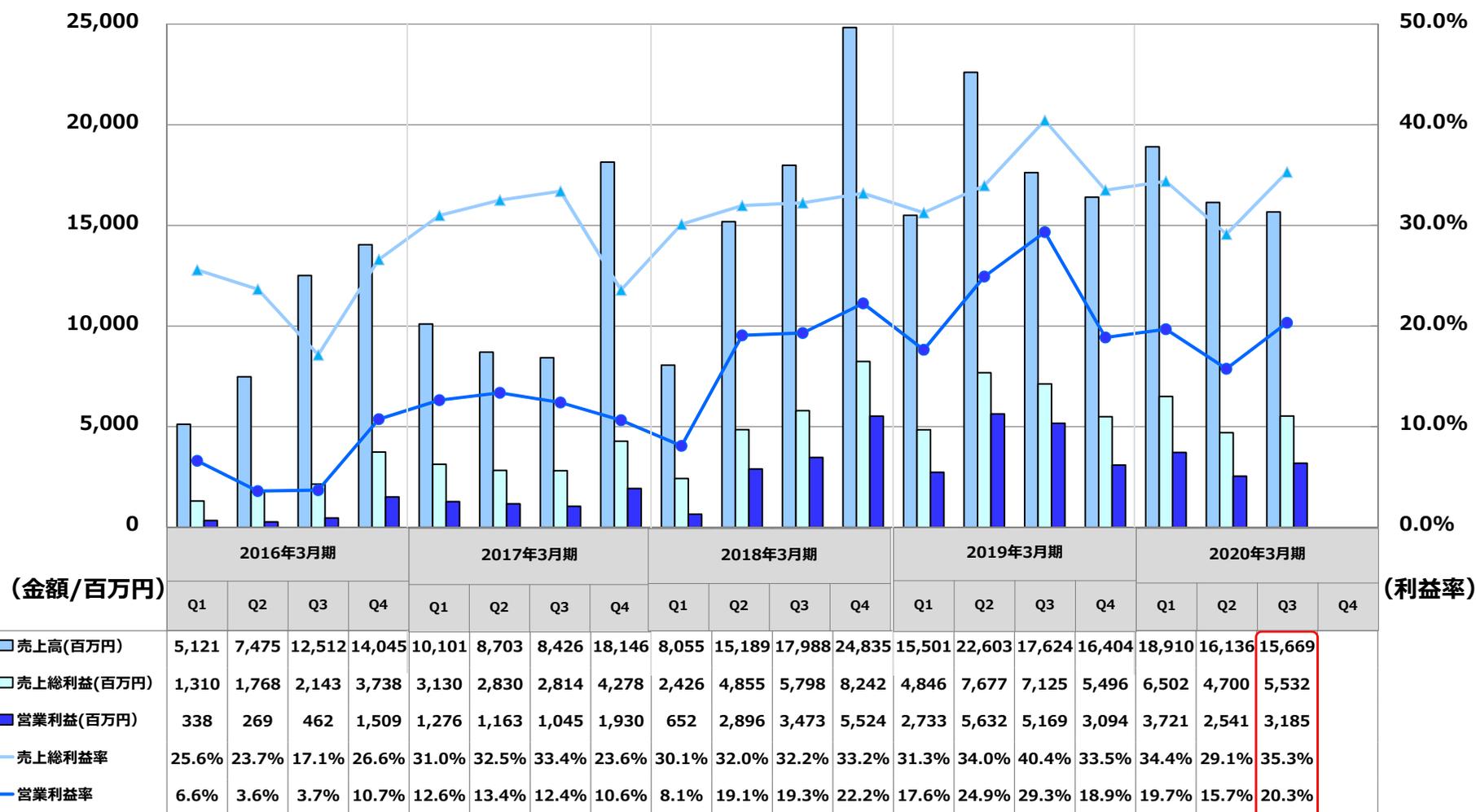
ウェーハ検査



地域別連結売上高

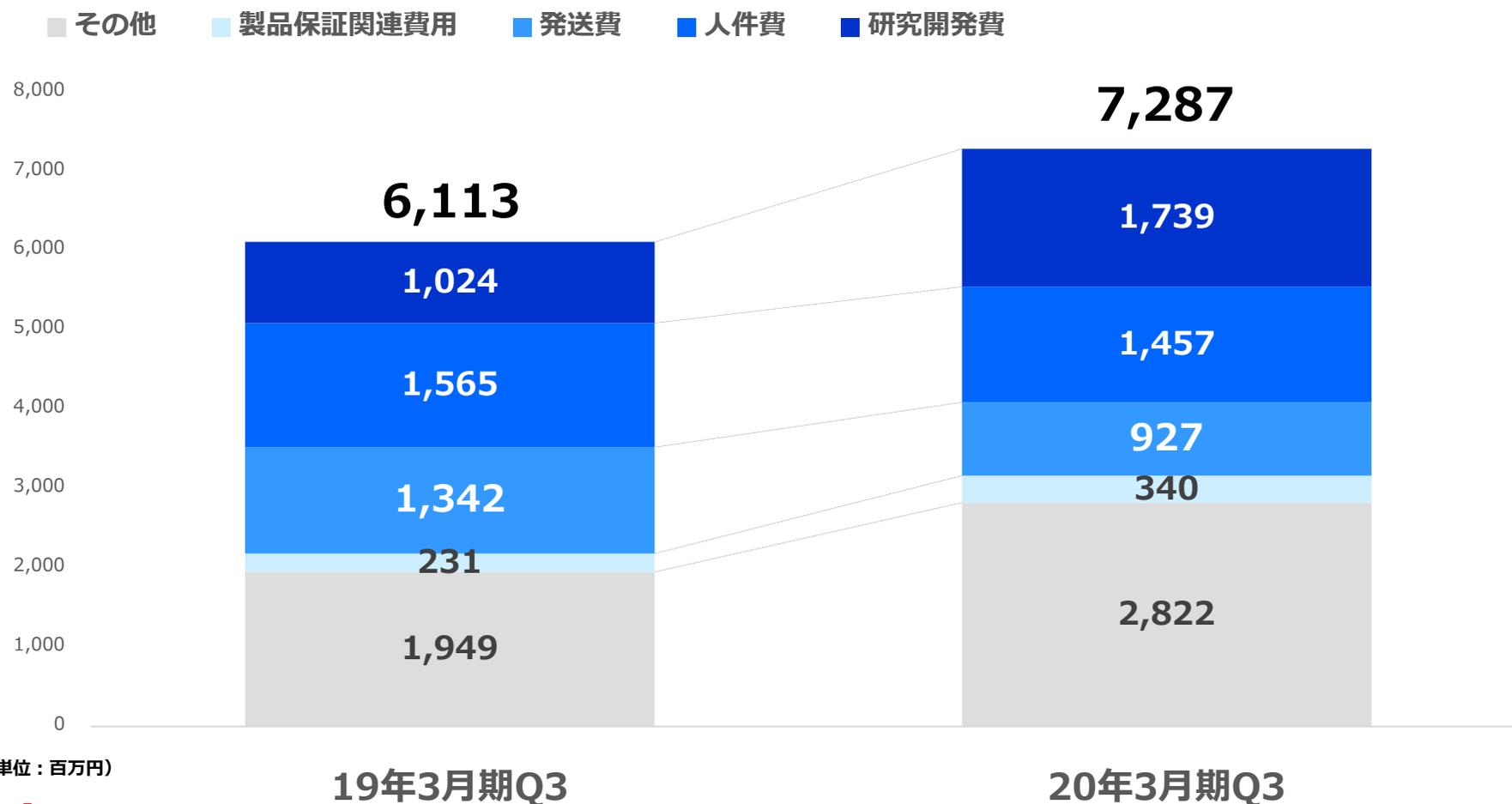


四半期毎連結売上高・利益の推移



販売費及び一般管理費（連結）

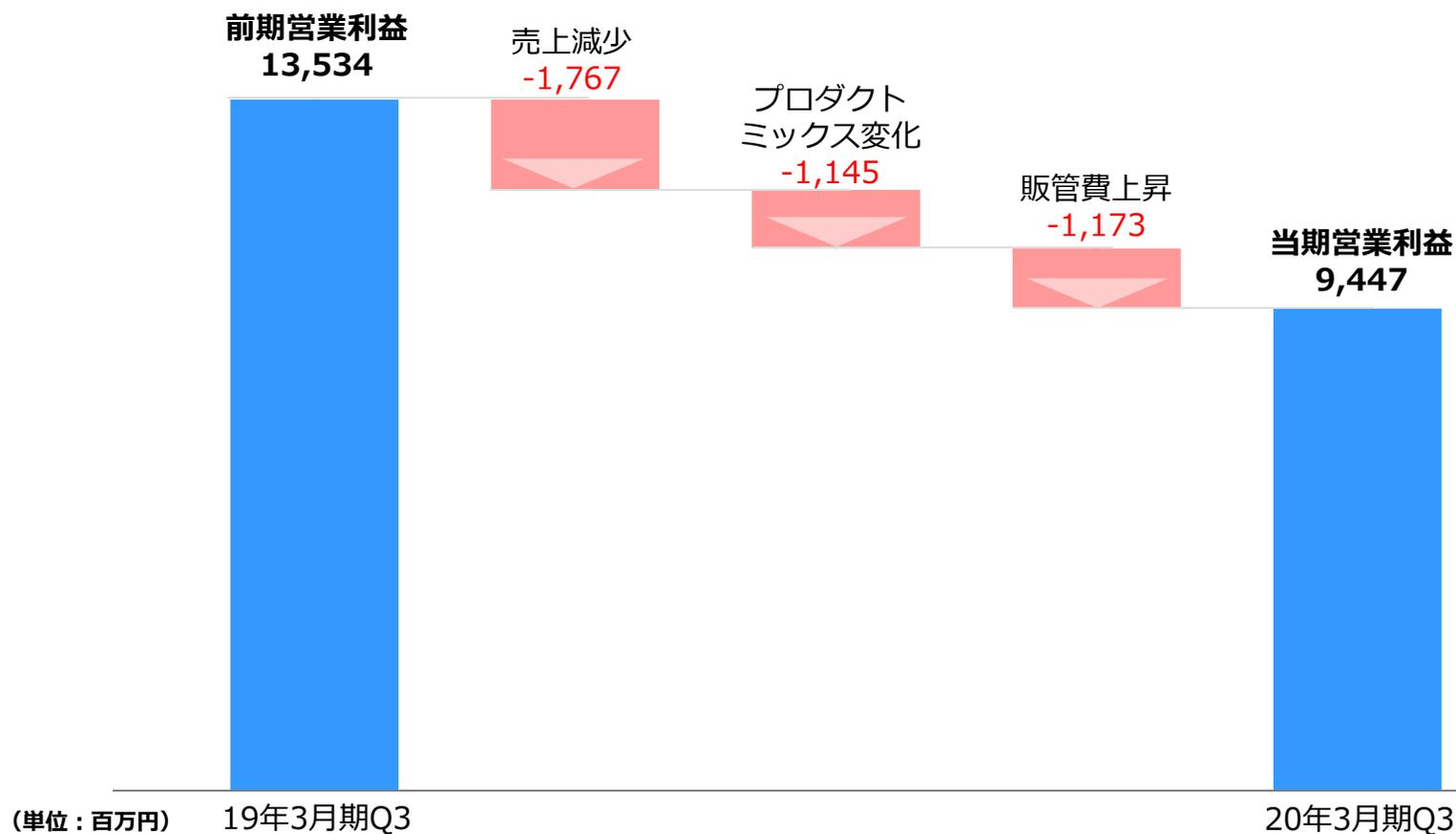
- 販管費は前年比19.2%増加。研究開発費およびその他項目に含まれる訴訟関連費用の一時的な増加による。



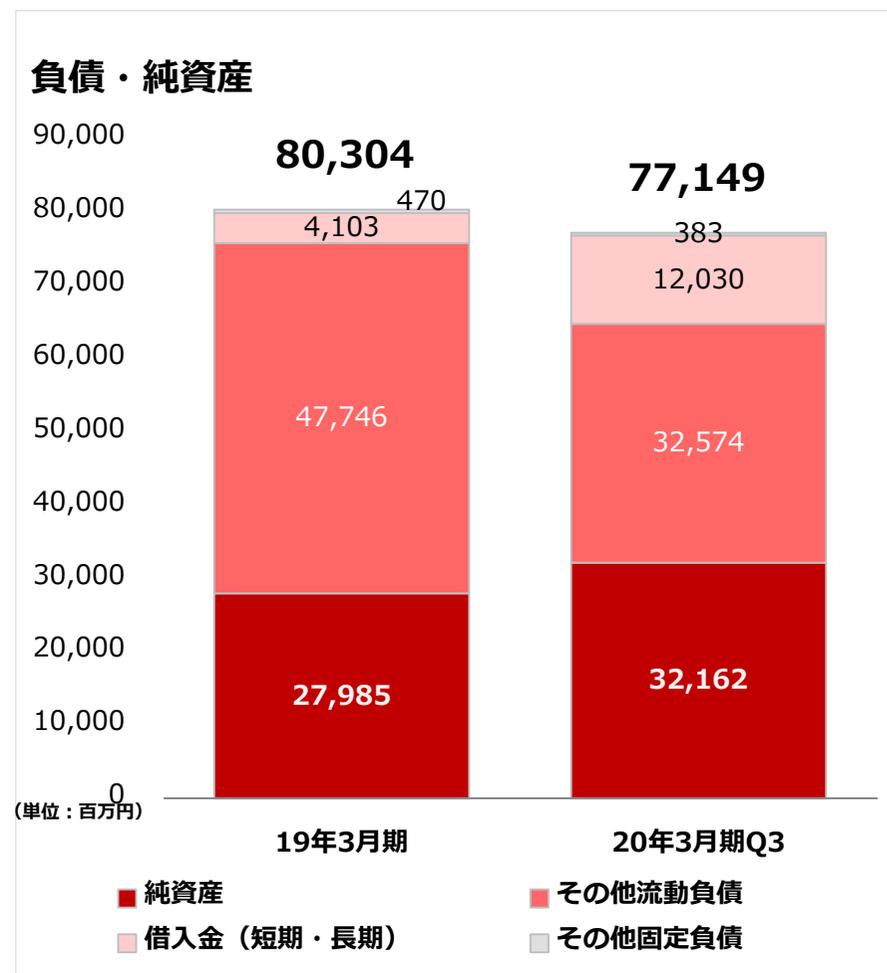
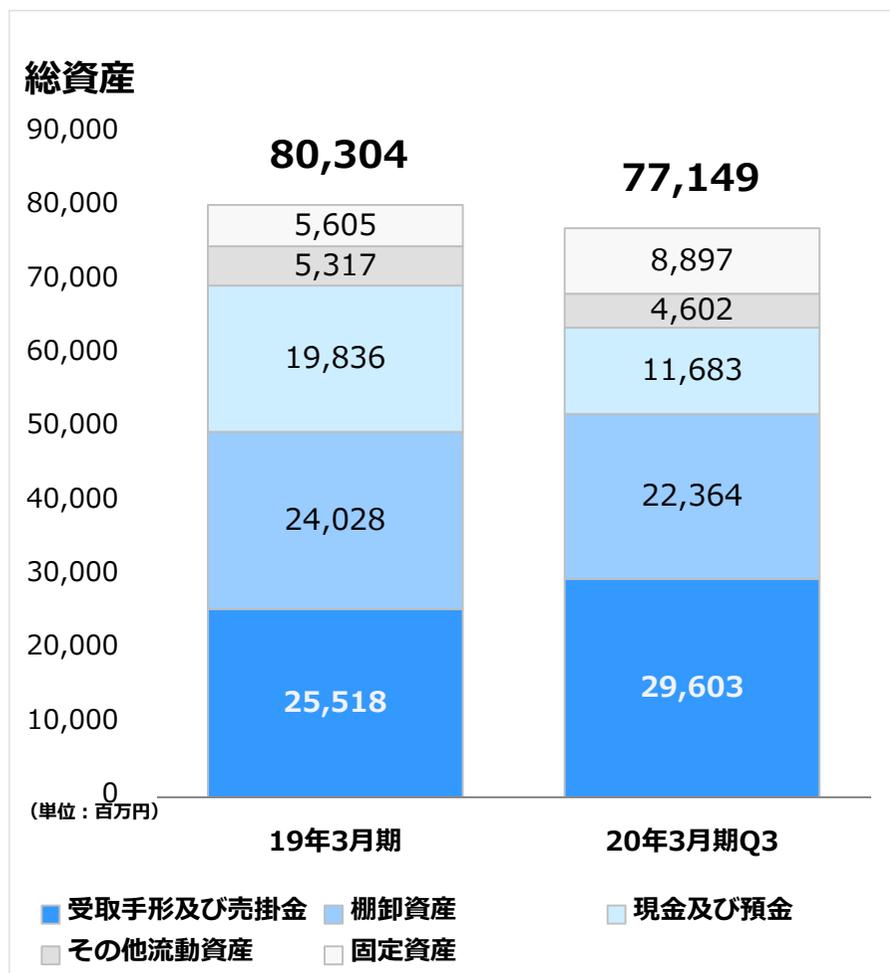
(単位：百万円)

連結営業利益の差異分析

- 製造装置のPRODUCTミックス悪化、検査装置の売上減少、販管費増加(研究開発費および訴訟関連費用)により、当四半期の営業利益は30.4%減少し94億円で着地。



連結貸借対照表の推移



業績見通し

2020年3月期の業績および配当予想

- Q3期間の販売計画は概ね計画通りに推移も、武漢市を中心に中国全土に感染の拡大が続く新型コロナウイルスの影響を踏まえ、業績予想を修正。
 - 従業員の安全確保および国内への感染拡大防止を最優先。
 - 物流および立上げ作業確保等のリスクを考慮。
 - 2月および3月売上計上予定の全ての中国案件を、来期計上に変更。

- 業績予想の修正を受け、期末配当予想を80円から40円に変更(通期120円)。

	19年3月期(実績)		20年3月期(2月修正予想)		対前期増減率
	金額(百万円)	構成比	金額(百万円)	構成比	
売上高	72,132	—	54,000	—	-25.1%
営業利益	16,628	23.1%	5,700	10.6%	-65.7%
経常利益	16,767	23.2%	5,600	10.4%	-66.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	10,901	15.1%	3,100	5.7%	-71.6%
EPS	1,108.74円		320.60円		—

配当について

今期予想	中間配当：80円(実績)	期末配当：40円(今回予想)
(参考)前期実績	中間配当：80円	期末配当：80円

(参考) 2020年3月期 連結売上予想の内訳

- Q4期間のほとんどを占める2月および3月に売上計上予定の全中国案件(収益性の高い装置を含む)を来期計上に変更。

